外国語科（英語コミュニケーションⅡ）学習指導案

日　時　令和７年 11 月 25 日(火)
　　第４校時 11：30～12：20
学校名
対　象　第２学年　　組　　名
会　場　２年　　組　　教室
授業者

１　単元名

Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal
LANDMARK Fit English Communication Ⅱ（啓林館）

２　単元の目標

山田周生さんの活動と取組について書かれた英文を読み、内容を要約文としてまとめるために概要や要点を捉えることができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　「完了形の分詞構文」等の知識を理解している。 ②　山田周生さんの取組について、書かれた英文を読み取る技能を身に付けている。	①　山田周生さんの取組に関する英文の概要と要点を捉えている。	①　山田周生さんの取組に関する英文の概要と要点を捉えている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、高等学校学習指導要領（平成 30 年３月告示）　第２章　第８節　外国語の各科目　第２　英語コミュニケーションⅡ　１　目標　⑵　読むこと

> イ　社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

また、同　２　内容〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

> エ　文構造及び文法事項
> （ｲ）　文法事項
> ｇ　動詞の時制及び相など

加えて、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

> ア　日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。

そして、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

> ①　言語活動に関する事項
> ウ　読むこと
> （ｲ）　社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論証文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、読み取った内容を基に考え

をまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

を受けて、単元の指導目標としては、必要な情報を読み取り、概要と要点を把握し、要約文を作成する活動までを行う。

⑵　生徒観

第２学年は１学級を発展クラスと標準クラスの２展開で指導しており、授業を行うクラスは標準クラスである。入学時は英語に対して苦手意識をもつ生徒が多かったが、第１学年における語彙や文法の学び直しによって少しずつ苦手意識が改善されてきている。また、英文を読み取り、理解できるようになりたいという気持ちを多くの生徒がもてるようになっている。第２学年になり、概要や要点をまとめる活動に慣れてきた生徒も見受けられるが、まとまった量の英文を読むためには、支援が必要となる生徒も依然見受けられる。したがって、「オーラルイントロダクションを入念に行い、本文の内容に関して関心を引き出す。」「知らないと読み間違えを起こし得る主部や、述部、内容語について確認する。」などの適切な支援を行いながら、英文の概要と要点を捉える練習を引き続き行っていく。そして、「英文を読み内容をある程度理解できる。」という自信を付けられるように指導することを目標とする。

⑶　教材観

この単元では、報道写真家の山田周生が、使用済み植物油で走る車「バスコファイブ号」に乗り、世界一周を達成することを通して、持続可能な社会のあり方を模索する姿が描かれている。また、東日本大震災を機に地域での活動に取り組み、「グローカル」という考え方を実践している。この教材は、地球規模の課題を自分事として捉え、身近な地域社会の中で行動する意義を考えさせる内容である。生徒が自らの生き方や社会との関わりを見つめ直す契機としたい。

また、段落ごとの概要と要点の解釈例と要約文の例は以下の通りである。

Part	段落	概要	要点
Part 1	第１段落	Who Yamada Is and Two Purposes of His “Biodiesel Adventure”	Yamada Shusei is a photojournalist who drove around the world in an eco-friendly car named “Vasco-5.”
	第２段落	What Yamada Got from His Journey	Meeting such good people of different races and in different countries was the most precious gift for him on his journey.
Part 2	第３段落	His Route and Achievements	He drove 47,853 km using 6,540 liters of waste oil given to him by more than one thousand people.
	第４段落	What He Learned from The Challenge	From this experience, he learned the importance of putting an idea into practice.
Part 3	第５段落	Explaining the Earthquake and Vasco-5’s Usefulness during His Another Journey.	It could generate electricity and provide access to the radio and the Internet without gasoline.
	第６段落	The Value of Vasco-5	He realized that the self-sufficient abilities of Vasco-5 would be useful for creating a future sustainable community.
Part 4	第７段落	Yamada’s Aim	He aims to create a “glocal” self-sufficiency model.
	第８段落	A Message to Young People	Don’t look for a path that is already set for you, but just take a step forward to create your own path.

Yamada Shusei is a photojournalist who traveled around the world in his eco-car, Vasco-5. He got waste oil, food, and kind support from many people. Through this journey, he learned the importance of trying ideas in real life.

After he came back to Japan, the big earthquake happened. He used Vasco-5 to make electricity and help people. He found that its self-sufficient power was very useful for the future.

Now, Yamada is building a “glocal” community in Iwate. He wants young people to act bravely and make their own paths.

5　年間指導計画における位置付け

期間	単元名	焦点領域
～１学期中間	Lesson 1 A Swedish Girl’s Discoveries in Japan	読むこと
～１学期期末	Lesson 2 A Message from the Emperor Penguins Lesson 3 Tokyo’s Seven-minute Miracle	話すこと［発表］ 読むこと
～２学期中間	Lesson 4 Seeds for the Future Lesson 5 Gaudi and His Messenger	書くこと 読むこと
～２学期期末	Lesson 6 Edo: A Sustainable Society Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal（本単元）	聞くこと 読むこと
～学年末考査	Lesson 8 Our Future with AI	話すこと[やり取り]
通年	パフォーマンステスト、単語テスト、ペーパーテスト	

6　単元の指導計画と評価計画（全８時間）

時	目標	○学習内容　・学習活動	評価規準 （評価方法）
第１時	単元のトピックを把握し、通読を通して各段落の概要を考える。	○　単元の言語活動の把握 ・　配布された「評価規準」を参照しながら、本単元で行う言語活動の見通しをもつ。 ○　本文の通読と概要把握（前半） ・　オーラルイントロダクションを通して、本文の内容を大まかに把握する。（内容理解のために大事な語彙についての導入も含む。） ・　通読するために必要な述語部分や語句を確認する。 ・　通読する。 ・　本文の流れ（概要）を考える。	ウー① （観察、ワークシート）

第２時	各段落の概要を捉える。	○　本文の通読と概要把握（後半） ・　二度目の通読をし、前時に考えた概要を必要に応じて修正する。 ・　概要をペアで確認する。 ・　概要を学級全体で共有し、中間評価を受ける。 ・　中間評価を受けて必要に応じて概要を修正する。 ○　振り返り	ウ－① （観察、ワークシート）
第３時	Part 1 を読み、要点を捉える。	○　第１段落の要点を捉える。 ・　概要を振り返る。 ・　要点を捉えるために、文の中心となる表現や大事な働きをする語句を確認する。 ・　本文を読み、要点を考える。 ・　選んだ要点をペアで確認後、中間評価を実施して学級で共有する。 ・　必要に応じて概要もしくは要点を修正する。 ○　第２段落の要点を同様の流れで捉える。 ○　振り返り	ア－② （ワークシート）
第４時（本時）	Part 2 を読み、要点を捉える。	○　第３段落の要点を捉える。 ・　概要を振り返る。 ・　要点を捉えるために、文の中心となる表現や大事な働きをする語句を確認する。 ・　本文を読み、要点を考える。 ・　選んだ要点をペアで確認後、中間評価を実施して学級で共有する。 ・　必要に応じて概要もしくは要点を修正する。 ○　第４段落の要点を同様の流れで捉える。 ○　振り返り	ア－② （ワークシート）
第５時	Part 3 を読み、要点を捉える。	○　第５段落の要点を捉える。 ・　概要を振り返る。 ・　要点を捉えるために、文の中心となる表現や大事な働きをする語句を確認する。 ・　本文を読み、要点を考える。 ・　選んだ要点をペアで確認後、中間評価を実施して学級で共有する。 ・　必要に応じて概要もしくは要点を修正する。 ○　第６段落の要点を同様の流れで捉える。 ○　振り返り	ア－② （ワークシート）

第6時	Part 4 を読み、要点を捉える。	○　第７段落の要点を捉える。 ・　概要を振り返る。 ・　要点を捉えるために、文の中心となる表現や大事な働きをする語句を確認する。 ・　本文を読み、要点を考える。 ・　選んだ要点をペアで確認後、中間評価を実施して学級で共有する。 ・　必要に応じて概要もしくは要点を修正する。 ○　第８段落の要点を同様の流れで捉える。 ○　振り返り	アー② （ワークシート）
第7時	本文に関連した文法事項を理解する。	○　教科書の Grammar for Communication の学習 ・　本文中に登場する Grammar for Communication で扱われる文法事項を用いた文を使用し、意味と用法を確認する。 ・　ワークシートの練習問題を解く。 ○　振り返り	アー① （ペーパーテスト）
第8時	Lesson 7 の内容の要約文を書く。	○　概要と要点のまとめ ・　今までの学習を振り返り、各段落の概要と要点を見直し、加除訂正する。 ○　要約文を書く ・　概要と要点をまとめることで要約文を作成できることを確認する。 ・　Lesson 全体の要約文を考える。 ・　考えた要約文をペアで確認後、学級全体で共有する。 ・　要約文の内容を相互評価する。 ○ 振り返り	イー① （ワークシート） ウー① （観察、ワークシート）

7　指導に当たって

ア　自身の考えた概要や要点を基に読解を進めることで、「主体的な学び」を促す。
イ　生徒が他者の意見や考えに触れる機会（中間評価）を設け、「対話的な学び」につなげる。
ウ　中間評価を経て得られた他の生徒の解釈を参考にしながら、自分の解釈を再構築することにより、「深い学び」につなげる。

8　本時(全８時間中の第４時)

⑴　本時の目標：Part 2 を読み、要点を捉える。

⑵　本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点　配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 ３分	○　挨拶 ○　本時の目標と流れの確認	・　授業開始前に板書をしておく。	

展開 44 分	○　第３段落の要点を捉える。 ・　第１時に考えた概要を確認する。 ・　要点を捉えるために、文の中心となる表現や大事な働きをする語句を確認する。 ・　本文を読み、要点を考える。 ・　必要に応じて概要もしくは要点を修正する。 ・　考えた要点をペアで確認する。 ・　中間評価を行う。 ・　必要な場合は要点を修正する。 ○　第４段落の要点を捉える。 ・　第１時に考えた概要を確認する。 ・　要点を捉えるために、文の中心となる表現や大事な働きをする語句を確認する。 ・　本文を読み、要点を考える。 ・　必要に応じて概要もしくは要点を修正する。 ・　考えた要点をペアで確認する。 ・　中間評価を行う。 ・　必要な場合は要点を修正する。	・　スクリーンにタイマーを映し、時間管理をする。 ・　スライドを用いてテンポよく行う。 ・　要点を考える上で、概要との間に違和感がある場合は概要を修正してもよいことを伝える。 ・　ペア活動では「概要と要点の辻褄が合っているか。」の観点を含めて意見交換をするように伝える。 ・　机間指導を行いながら、回答状況を把握する。	アー② 山田周生さんの取組について、書かれた英文を読み取る技能を身に付けている。 （ワークシート）
まとめ ３分	○ 振り返り ○ 次回の予告 ○ 挨拶	・　次回の内容を確認する。	

⑶　板書計画

Today's Goal: Think about Part 2's key sentence.
☐ Think about the key sentence of Paragraph 3
☐ Think about the key sentence of Paragraph 4
☐ Review

スライド

⑷　授業観察の視点

ア　生徒自身の考えた概要や要点を振り返る機会を設け、「主体的な学び」を促していたか。

イ　生徒が他者の意見や考えに触れる機会（中間評価）を設け、「対話的な学び」につながっていたか。